

2020年3月31日

～ 西日本シティ銀行 創立15周年記念事業・産学連携事業 ～
 「SDGs Design International Awards 2019」企業 Grant 表彰作品の決定について
 — SDGs 啓発「アイデア創発型当行オリジナルカード」を使用したデザインを表彰 —

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、九州大学が世界中の学生を対象に開催した「SDGs Design International Awards 2019」（以下「Awards」）（<https://www.sdgs.design.kyushu-u.ac.jp/awards/>）における企業 Grant として、九州大学2年生の木村 紗彩 氏の作品を表彰することを決定しましたので、お知らせします。

Awards は、デザインに関心のある学生から国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けたデザインを募集し、優れたデザインを表彰することで学生の活動を支援するとともに、デザインや教育の分野でSDGsの達成に貢献することを目的としているものです。

当行は、この主旨に賛同しアイデア創発型カード（名称：街-1（まちわん）カード）[※]を使用したデザインを募集し、今般、企業 Grant として表彰しました。

多数のご応募ありがとうございました。

※「街-1カード」とは、当行が独自に開発したもので、SDGsを啓発し“ワクワクする楽しい街のアイデア”を考えるツールとして当行主催のワークショップ等で使用するものです

記

1. 企業 Grant 表彰デザイン

タイトル	くつつくばんく ～銀行、若者、地元企業が繋がる新価値の銀行～
受賞者	九州大学共創学部2年 木村 紗彩 氏
デザイン コンセプト	銀行と若者と地元企業が交流できる屋台 【使用した街-1カード】  <p>仲間集めが得意なパーティー好き × 博多の屋台 × 駅前ビル</p>



デザインの詳細につきましては、結果発表（<https://www.sdgs.design.kyushu-u.ac.jp/awards/result/>）のページよりご覧ください。

2. 選定理由

募集したテーマ「キャッシュレス時代における銀行店舗の新しいデザイン」に基づいた学生ならではのアイデアであることが選定の理由です。特に以下の点を高く評価しました。

- ・銀行店舗内に博多の屋台を設置するという地元感のある斬新なアイデアであること
- ・キャッシュレス時代の到来で若者がますます銀行店舗に足を運んでいないという点に着目し、“銀行が若者や地元企業をつなぐ場を提供する”という銀行の新たな来店目的を創造していること

<参考> 募集したデザインの概要

テーマ	キャッシュレス時代における銀行店舗の新しいデザイン
デザイン要件	<p>A 枠、B 枠にあるカードからそれぞれ1つ以上を組み合わせて、アイデアを考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>A：人物、物カード</p>  <ul style="list-style-type: none"> ① 仲間集めが得意なパーティー好き ② 地球にやさしいエネルギーの研究者 ③ VR めがね ④ 配達サービス ⑤ ロボット ⑥ 博多の屋台 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>B：場所カード</p>  <ul style="list-style-type: none"> ① 駅 ② 駅前のビル ③ 近所の広場 ④ 住宅街 ⑤ 古い空き家 ⑥ 朝市 </div> </div>

～西日本シティ銀行と SDGs ～

西日本シティ銀行は、これまでも地域金融機関としての事業活動である創業・事業経営支援、産学連携、海外進出支援などを通じ、地域の事業者の皆さまの成長支援、地域経済の活性化や地域社会が抱える課題解決に取り組んできました。

今後も、西日本シティ銀行は、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指し、地域金融機関ならではの SDGs の取組みを推進してまいります。

※ SDGs (エスディージーズ) とは

「SDGs (持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals)」とは、2015年9月に国連で採択された国際目標のことで、貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を、2030年までに達成するという17のゴール(目標)と169のターゲット(達成基準)で構成されています。

<SDGs17のゴール(目標)>



以上

本件に関するお問い合わせ先
 広報文化部 武田・吉留 TEL 092-461-1869